

審議会等会議録（概要版）

審議会等の名称	第4回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会
開催日時	平成28年8月2日（火曜日）15:00～17:00
開催場所	ホテルニュータナカ
公開・部分公開の区分	公開
出席者	古賀 和利委員 ほか38名
欠席者	森近慎治委員、清水 力委員、松浦聖寿委員、山下信雄委員、淵上泰敬委員
事務局	山口市総合政策部中核都市推進室（企画経営課）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第3回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会について 2 第3回検討委員会後、事務局に提出された意見書について 3 平成28年6月議会における本庁舎に関する答弁 4 本庁舎の候補エリアについて 5 第5回検討委員会日程について
内容	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長挨拶 2 議題 <p>【会長】</p> <p>それでは会議に入りますが、本日の会議は5時までと制限されておりますので、宜しくお願いします。会場の都合上、時間の延長は出来ないと聞いておりますので、ご了承いただきたいと思います。</p> <p>（異議なし）</p> <p>それではまず、次第3の「第3回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会について」と、次第4の「第3回検討委員会後、事務局に提出された意見書について」次第5の「平成28年6月議会における本庁舎に関する答弁（要約）について」を事務局から一括して説明をお願いします。</p> <p>【事務局】</p> <p>次第3～5について資料概要説明</p> <p>【会長】</p> <p>庁舎移転に関する市の考え方、市長答弁も今回示されておまして、位置に関すること、規模、まあ規模の話は前回までもどれくらいの適正規模が合うのかという意見も出てまいりました。それから財政の問題、これも金額が多い、少ないという話も、既に議論はして参りましたが、市の答弁としてはこういうことで、一番最初のときに委員の方から質問があって、どういう立場で議論していくのかという話がありました。附帯決議に関しても、附帯決議があるということは我々もしっかり認識しながら議論を進めていかないといけないんですが、その附帯決</p>

議の背景とか、そこまで斟酌して我々が検討するところまでは恐らく皆さんいかないということで、庁舎移転に関して考えるときには、こういう附帯決議があるんですよということを考慮に入れながら色んな意見を言っていただいて、最終的に44人の委員の皆様で場所が決まれば。それからあとは、どういう規模にするとか、どういう機能を持たすとかいう結論が得られれば良いと思っておりますが、そういう方向で検討するというので、皆さんよろしいでしょうか。

(異議なし)

はい、では皆さん個人として、委員として参加されているその立場で、しっかり採決も含めて考えてご意見をいただければと思います。

それでは続きまして、次第6「本庁舎の候補エリアについて」ですが、前回こういうところも考えてという意見も出ましたので、それも含めて説明をいただければと思います。宜しくお願いします。

【事務局】

次第6について資料概要説明

【会長】

前回の議論の中で、こういうところでは、どれくらいの予算になるのかという質問が出たところの費用を出していただいたのと、もう一つは新山口駅周辺の整備計画はどうなっているのかということも併せて説明をいただきました。

場所に関して、どれくらいの費用で建つんだということで130から150億円くらいの範囲でだいたいこれくらいの金額で建つのだなというのが分かりました。

庁舎を例えば小郡に建てる場合は、小郡の支所機能を入れる、入れないで金額が違う。それから全体の話で、現在ある庁舎の位置に建てる費用がかさむと。だいたいそんな感じにまとまっているというふうに思います。

今回新たに追加されたのが、候補地ごとにどれくらいの金額になるかというのを出していただきましたが、併せて新山口駅周辺の再開発は既に計画されてそれが整備されようとしているということも資料として皆さんのほうに報告していただいたということになるかと思います。

今の話について、質問がございましたらどうぞ。

特になければ、規模と機能と位置に関して前回と今回で議論をしていくということになっておりますので、そのことに関してご発言がございましたら。

できるだけ多くの委員にご発言をいただいて、ここにおられる委員の皆さんの全体がどんな意見をもっておられるかというのを聞いて、どういう議論の進め方をしていくのかということも併せて考え、もちろん今回結論が出れば、それはそれでいいかなと思っておりますが、そういう意味で機能、位置、規模ですね、それに関して意見をいただければと思っております。

【A委員】

前回第3回も、意見を申し上げたと思います。特に本庁舎の位置に関する問題ですが、古賀会長さんに2点くらいお願いがございまして、そのことについて質問をしてお答えができれば、いただきたいと思います。

まず、第3回の委員会が終わりまして、地元に戻って地元の皆さん方の意見等をお伺いさせていただきました。特にその当時マスコミや新聞なんかには色々この案件の話が載りましたので、小郡内での色んな団体の方、一般の旧小郡市内の市民の皆さん方からご意見を伺ったところ、11年前の1市4町での合併協定項目の附帯決議に関する問題点があつてその結果を見据えて、この検討委員会が進行されるだろうと理解をされておったんですが、前回私がこういう風に質問したところ、附帯決議について全くご審議がなかったというような方向が出ました。そこでまた町民の方も11年前の合併の件について、一体どういうことなんだと。当然委員会のここで審議をされる2回目の討論内容なんかはほとんど伝わっておりません。従つてこういう内容を候補地なんかは多少載っておりますが、そういうものが徹底されていないということがございまして、1市4町で合併した当時のそういう附帯決議に則った段取りというのが全く無視をされておったんじゃないかというような意見が多数ございました。そしてこの附帯決議の中にありますように、新市の発足後に速やかに新市の事務所の位置に関する審議組織を立ち上げて検討するんだということが明記されておりますから、あれから11年経つてようやく、合併後速やかにというのが10年だったのかなというふうに皆さんは仰います。このこと自体を通じてですね、あの当時のことをしっかり思い起こすという意味で先ほど会長さんにおかれましては、この限られた時間の中で審議をするんだというふうに仰いました。

まず一つは、その意見の集約、これをどういうふうな形でされるのか。委員さんから当然色んな意見が出るとは思いますが、この意見の統一意見をどういう形で集約をされるのか。まずその辺についてお聞きしたいなと思います。

それともう一点、11年前の法定合併協議会の中で協議をして決定しました色んな報告がございまして。特に新市の建設計画、あるいは新市の名称について、あるいは新市の事務所の位置について、多くはこの3点だったと思うんですが、そういったものが色々ございました。こういう重要な内容についても協議をしていかないといけないと思いますし、ぜひこういった意味でも、ご決議をする場が欲しいと思います。というのが、当然その当時の1市4町の首長さんがいらっしゃいます。いま現役で色々活動されていらっしゃいますが、限られた時間の中で結論を出すというのは難しいのではないかと考えておりますし、ぜひそういった参考意見を聞く場を作っていただきたい。まずこの新市の事務所の位置を決めるに当たっては、決定をすれば30年50年はその土地にしっかり根付くような建物が建てられるんじゃないかと思つています。そういう重要な問題をこの2回3回くらいの会議の中で決定をしていいのかどうかという問題がございまして。44名の委

員さんの中に色々な意見が出るとは思います、なかなか統一した意見というのは難しいかもしれませんが、その大変重要な問題点でございますので、その部分も含めて集約の方法、答申の仕方、そして1市4町の首長さん等の意見を聞く場を設定していただきたいという、この2点についてお答えをいただければ聞いてみたいと思います。

【会長】

司会をする立場、会議の進行をする立場として、自分の意見は…という意見を持っておりましたが、私が個人的に考えるのは、例えば先ほど附帯決議をどう考えるのかというのをこの場でどういうふうな経緯で、どういう形で、何のためにこれが作られたとか、この場で議論することは多分無理だというのが私の考え方です。恐らく、我々が答申を出します。それは先ほどから申しますように、ここにお集まりの個人がベストと考える結論を出しましょう、それに対してその答申を見られて、そのときの市長、議会の皆さまが、それでいい、悪いという話はそこで出てくるんだろうと思っています。とても議会みたいなことをここでやるというのは、私は初めからおかしいのではないかなと。だからここにお集まりの皆さんのこれまでの考え方に基づいて、附帯決議がちゃんとあるんですよということを踏まえながら、どこにするかを考え、それをですね、周りの人に説明するのはこの答申が出ていったあとの市長さんがどう考えられるか、議会でどういう答弁をされるか、そのように私は思っていますので、そういう意味でここにご出席の委員の皆さまの意見をまとめたい、そういうふうに考えて先ほど、そういう方向で検討をするのを皆さんに了承いただいたつもりなんです、ご発言どなたかございませんでしょうか。

【B委員】

6月議会の一般質問のときに、そのときには会長がおっしゃったような答弁を市長がされたんですかね。

我々はあくまでも諮問機関でございますので、それぞれの委員が常識を持って意見を持って、それを集約したものを提出して、最終的には市長がお決めになる、議会も含めてということになると思いますので、会長が回答されたことでやっていくのがベストだと私は思います。

【会長】

先ほど、市側の説明でも例えば場所を移転すると決めたとしても、議会の3分の2以上の賛成がないと、それは動かない。我々が動かすと決めても議会が3分の2で承認をしないと動かない。そういう法律になっているので、ここで我々の集まった中で色々な意見を交換しながら、こういう考え方もあるのか、というのでも踏まえて結論を出してやれば、その時に移転するとなったら議会でその移すた

めの3分の2の議決が必要なんで、それは市議会の皆さんというのは各地区の代表者が出られておりますので、そこでしっかりOKをとっていただければ、我々の答申が生きるという形になろうかと。その辺の手続き上の話があまりはっきりしてないというのは、私もずっと思っていて、個人的には先ほど申しましたように、ここに集まった皆さんの考え方で答えを出せば、周りの人にはもちろん会長がこういうことを言ったと伝えてもらうのは構いませんが、皆さんそれぞれの立場でそれぞれの意見を言って、最終的にどこにするというのを決めればいいのかなど。求められたので提案させていただきましたが、そういう方向で皆さん了解であれば、改めまして、この議論を進めていきたいと思っておりますけど、宜しいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【C委員】

候補地につきまして、新山口駅周辺を加えていただきました。そして、色々な資料等も市のほうでたくさん作っていただきました。私たちは各候補地につきまして、自分はどこの候補地がいいんじゃないかという意見を聞く、言う、そういった場をもって欲しいと思います。実は私どもも、私は新山口駅周辺が良いと思っているんですが、しかし、そこにおいても色々メリット、デメリットがあると思うんですね。他の候補地につきましても、自分はそこはどういう理由でいいんだという、そういう意見をお互いに候補地ごとに出していけば、自然とどこの候補地がいいんだという、そういう集約も出来てくるのではなかろうかと思っています。

【D委員】

先ほどから色々、附帯決議の件がありましたが、私はやはり附帯決議を踏まえながら、これを議論するというのとは全く意味がないのではないかと思います。私の個人的な意見を3点ほど述べさせていただきます。

まず、論点の1としまして、場所についてはまず安全でなくてはならない。災害に対して安全がキープされてないと、熊本の地震でもそうですし、市役所が倒壊したり、浸水によって職員が来れないという状況が発生するようであれば、それは適地でないというふうに私は考えています。前回のときも発言がありましたが、地震については免震構造にすれば震度7くらいは大丈夫だと。そうすれば、大きな問題としては、浸水の問題と、地すべりといいますか、そういうものが対象になるのではないかと。この辺のところは、道路が冠水しない、100年に1回の災害が起きた時でも、職員がきちんと集まれて、災害対策本部として機能が維持できる場所が求められるのではないかと思います。

次に第2点ですが、市役所を利用するというのとは、市民の方が利用されるわけ

ですね。できるだけ、庁舎にアクセスしやすい場所が求められると私は思います。そうしますと、10年前の合併のときと、現在とは状況が全く変わってきています。もちろん、その時の附帯決議を無視するわけではないのですが、状況が変われば、その状況に応じた柔軟な考え方が必要ではないかと思っています。今回、市のほうで説明がありますが、東の端、阿東と、阿知須から、それぞれの場所にアクセスする距離を見てみますと、かなり小郡地区に建てるとなると西側に寄っていると。阿東の人は50キロくらい走らないと庁舎に着けない。逆に阿知須のほうは10数キロくらいで着いてしまう。山口の都市核に設置しますと、差が17キロくらいの差になる。ということで、位置的には東側に寄ったほうがいいかなと思っています。

それから、人が来るということは、人口構成も頭に入れておかないといけないのではないかとということで、これも資料のほうにございますが、資料3の5ページにありますように、人口構成は山口が38・7%、小郡は8・1%という構成になっている。これは22年の国勢調査で出てきた数字なんですけど、この辺も考慮に入れる必要があるのではないかと思います。

それから論点の3としまして、今回新たに提案された候補地については、資料3の4ページにあるように、全て民有地である。民有地を取得をして、整地をして、そしてそこに建てるとなると、恐らく建てられるようになるまでに10年近い日時がかかるのではないかと思います。一人の地主が全てを所有していれば割りと簡単なのですが、たくさんの地主の方がおられるとなると、ひとりでも反対があれば、建設は出来ない訳ですね。すべてOKを貰わなくてはならない。そうすると、これにかなりの日数がかかるのではないだろうか。これはもちろん想定ですから、絶対かかるというわけではないですが、市の土地を使うのと、民有地を使うというのでは、かなり大きな差が出るのではないかと。この辺も場所を設定する場合は考慮する必要があるのではないかとというのが私の意見です。

皆さんの意見もお聞きしたいと思います。以上です。

【会長】

ありがとうございました。その前に、河村委員からいただいた件ですが、先ほど私が申しましたように、ここの中では、我々ひとりひとりの見識でももちろん附帯決議を考慮しながら考えていくということで宜しいですかね。そうでないと、後ろに背負って色んな発言はできないと思うんですが。そこは議会に代わっていただきたいなと私は思うんですが、そこはご了承いただければと思います。

お二人に意見をいただきました。初めの方は、それぞれがどこがいいと言って、プラス理由が要ると。確かに理由付けをしないと、どこにする、いや、ここがいいと言っても、なぜ山口市民のためにそこがいいのかという理屈には、やはり個人の立場でもある程度は言うていただく必要があるのかなと。先ほど、いくつかの観点からそういうふうにしたほうがいいのか、こういう考え方はどうか、というの

をお伺いしたというふうに理解しています。

場所を決めるには安全性はどうかという話が1点、耐震構造にすれば、地震はOKだが、耐震にすると費用が高くなってしまったりか、この辺はですね、ここにすると、このくらいリスクがあるんですよというところはつけないといけないと思いますが、費用の面までは、じゃあいくらで、耐震までやれという結論は出せないのではないかと思います。そういう観点は大切だと思います。

それから位置に関しては、人口構成。基本的には人口の重心がどこか、ということだと私は理解しました。そういう観点からすれば、どこになるかという見方もあるんだと。

どこにするかということに関して、ご意見がありました。

【E委員】

附帯決議の話は、私の世代は社会人になってすぐくらいの頃で、合併したら小郡に市役所が来るのかなあくらいのニュースしか知らなかった世代でございますので、あまり附帯決議のことは分かりませんが、私の世代で考えると、今から仮に決まって、7年後、10年後、平成38年くらいに完成して、それから20年後までこの費用を負担するという実際の話になりますと、いま私が38歳でございますから、概ね現役世代としてギリギリの世代まで働くと思うんですが、その中の意見として言わせてもらいますが、20年後、30年後に、人口の重心について今話をされていますが、今から先の20年後、30年後の本当の山口市のビジョンというのを、その考慮が全くないままで位置の話が出ているのではないかと感じました。仮に今の渡辺市長がお話されている中で広域経済交流圏の中心になりたいという山口県の中で、山口市を中心として、山陽側のそういう大きな広域経済圏に対抗しなければならない、その中の一番中心が山口市でありたい、というようなお話があったと拝見させていただいたのと、前回お話をさせていただいた連携中枢都市構想という話を宇部といま交通の要衝として行政間で連携をさせているというようなこと。もう1点が、去年の話ですが、新国土形成計画を国土交通省が出されているみたいで、これが将来の道州制に絡むような考えになると示されています。そうなった場合、仮に20年後、30年後に山口県が存在しているかどうか分かりませんが、可能性として仮に中国州となった場合、中心は山口県ではないと考えられます。2018年が山口市政が150年という話が出ていますが、ちょうど花燃ゆで廃藩置県になって1番初めの県庁をどこに作るかとなったときに、今の県庁の場所に萩から移転されたというのが、当時の交通の要所であった山陽道、それから三田尻港が近かったとか、色々な考えの中から県庁を萩から山口に建てられた経緯があるんだと思います。やはりそういう大きな行政区の中心の市というのがあるのは、やはり色々な観点から20年後、30年後に本当に活用するものに残す側として、考えていただきたい。その中で、交通の便というのはかなり大きなウェイトを占めていくのではないかと私は考えてい

ます。それと、先ほど委員さんが言われていましたが、安全な場所でなければならぬというのがありましたが、残念ながら今の中で全てにおいて安全な場所は候補の中に1つもないんですね。今の現状の山口市も裏側が土砂災害の地域が一部かかっているみたいです。亀山公園も浸水地域になっています。小郡ももちろん浸水地域になっています。全てにおいて、ハザードマップで安全な場所は今のところ示されていないので、何らかの対策をしなければ防災の観点はクリアできないのかなと思います。

そういう将来性を考えて、私は個人的に新山口駅周辺のほうが発展もして、経済的にも長い将来の街づくりにかかる大きな経済効果が生まれるのではないかと、という観点から、新山口駅周辺のほうがふさわしいと思います。

【B委員】

今の委員がおっしゃった意見は最もだと思いますが、各地域の特性も考える必要があると思います。それが将来にわたる山口市の相互的發展につながると思います。

小郡地区ですが、産業交流拠点として既に答申をされておりますし、今から答申を促進するという計画もあります。もちろん交通の拠点でもあります。そういう利点を生かした小郡地区は発展をしていく。それから山口地区は、行政機能が集積しています。やはり、山口市役所の考え方を入れたほうが良いということで、市役所の場所としては山口のほうがふさわしいと思います。

それから、位置の関係ですが、私はたまたま阿東ということで、小郡になりますと、阿東から50キロということで、過疎高齢化が進んでおりますので、市役所に出向くということは現在に比べても難しくなります。そういうことも考えると、市役所の位置は山口都市核に置いたほうがふさわしい、それが山口の将来の発展につながるかと考えています。

【会長】

それぞれ、理由を少しずつ言っていていただいておりますので、そういう理由付けを総合的に考えて、どちらが良いか最終的に皆さん全員が、うん、そうだというものには中々難しいとは思いますが、色々な意見を言われてその理由まで言われる、じゃあそれに対してこっちはこうだと議論を活発に言っていて、どういうふうに答申を出していくかを含めて考えたいと思っていますので、自由に発言をしていただく。ただし、どこと言われるなら理由まで含めて。それから先ほどの観点、防災の面とかそういう考え方があれば意見を言って頂ければと思います。

【F委員】（仁保）

先ほどから、北部と南部の色々な条件的に話しが出ていますが、仁保というこ

とではなく、我々が育った山口市という観点に立ってみますと、先ほど県庁が萩から山口に移ったということがありますが、その前に、大内文化が栄えた文化の里であるということが一つしっかりと山口の中央に植えつけていきたいと。個人的なことですが。

それから、先ほどおっしゃった、県都山口市でございます。県庁があり、色々な国の出先もあり、そういうところに行政として集約をするほうが、仕事の面も出てくると思います。

それから、教育、文化、それから歴史ということについては、旧山口が最適ではなかろうかと考えますと、私は平地になっています亀山公園ふれあい広場が今のところ適地ではないかと思っています。

それから先ほど出ていました人口集中地区、やはり人口があちらこちらに流れていくかと思いますが、こういうきちんとした行政地域を作りますと、そう人口は大幅には移動しないのではないかと思います。マンションもずいぶんと建っており、人口も確保しているということで、宮野からバスが、それから片方は大内というような集中的にいま人口が出されています。それは小郡も色々な施設が建ちますと、人口が増えるかと思いますが、そういう観点から、亀山公園ふれあい広場がいいのではないかと。

それから、市役所の方にお伺いしたいのですが、例えば福島のような津波が来たときに、どこの辺りまでどういう影響が出るか。100年、1000年に1回あるかないかと思いますが、山崩れだけではなく、津波も海拔高低差でそういう被害もあるだろう、そういうものを含めまして、私は亀山ふれあい広場がいいのではないかと思っています。

【会長】

防災の点は瀧本先生が居られますので、お願いします。

【G委員】

津波の影響でいきますと、南海トラフの巨大地震というのをご存知だと思いますが、30年以内の確率が70%です。必ず来るんです。ですから、市役所が建てば、必ず影響を受けます。結論を申しますと、今日をご用意されてませんが、県が想定した津波の浸水の想定区域図によれば、まず確実に津波の浸水を受けるのは、写真がありましたが候補地6番、これは津波の影響を受けます。これは入ります。あとは若干、榎野川に沿って遡上していきます。川の近くは若干浸水していきます。山口市の亀山公園とかあの辺まで行くことはちょっと考えられないかと。一部は川を上ってきたという資料も残っているという話も聞きますが、今のところ国が想定している、あるいは県の想定では、今の旧市街地まで大津波が流れ込むというのはまず考えられない。ただ、先ほどお話しした、国道2号線より下、これが堤防があるからダム代わりになると思うのですが、これより下は浸水

します。これは県の想定です。私ではありません。ですから、津波の観点で言えば、6番は建てれば必ず津波の影響を受けます。ですから、津波が来ている間は市役所の職員は籠城していただいて、災害対応はできないという、その覚悟をもって選んでいただく必要があると思います。

一応、津波については以上です。

【E委員】

災害の件なんです、年数は忘れてしまったのですが、今から数年前に榎野川の浄水場が浸かったことがありまして、ポンプが駄目になって、山口市全域の水道が使えなくなったんですが、あの当時、私の会社が今は阿知須に移転したんですが、当時は小郡の駅南のほうにありまして、旧小郡町の水源地が違うために一切断水がなかったんですね。

そういうふうな津波の影響で、例えば今の朝田の浄水場がまた同じように浸かった場合に、あれだけ広域の断水が続いたのは、我々の生活に非常に影響が大きかったんですが、そういう対応というのは別の問題になろうかと思いますが、現状で言うと、旧山口市、私は嘉川が家なんです、嘉川は断水だったんですね。小郡は一切断水地域がなかったっていう、旧小郡町という特性があってですね、水源地は別、小郡は榎野川と水源地がございまして、そういうインフラの観点からも今の現状でもけっこう本当の浸水以外は強いというのがあったので、旧山口市の川が氾濫した場合に、そのインフラがやられる可能性をまだ対策とられてないのではないかと思います。

【D委員】

前回の防災マップを見ていただいたら分かると思うんですが、山口市の亀山公園の下のところは黄緑で浸水予測が0・5メートル、ただし国道9号線とパークロードについては浸水の危険がないという形になっている。恐らく50センチくらいですと、そのときに地上げをすれば、浸水によるトラブルというのは回避できると私は思います。

それから、朝田の浄水場については、西部のほうは断水しましたが、中心部・東部のほうは影響がございませんでした。これは、朝田と東部のほうは水源が全然違うということで、南部の方は断水をされましたが、私たち白石地区は断水の影響を全然受けませんでした。そういうことで、あたかも山口市全体が断水したという印象を持ったので、実態を皆さんに理解をしていただきたいということで発言をさせていただきました。

【H委員】

今日提案にあった資料の中で、事務局に質問したらいいのか分かりませんが、新山口駅周辺の提案の4、5、6と、先ほど説明がありました新山口駅周辺の再

開発プロジェクトがたくさん出ましたが、それとの関連はどういうふうになるんだろうと。言い方を変えれば、新庁舎を新山口駅周辺にという構想が、現在のプロジェクトとの整合性はどう理解したらよいのだろうという質問です。

【会長】

前回、再開発のところがあるのに、なぜそこに庁舎を建てないのかという意見が出て、こういうところはこうなりますと出たと思うのですが、一番近いAゾーンというのは、先ほど説明があった資料2の9ページのところは、既にこういう計画、要するに新山口駅に一番近いAゾーンにはこういうことをやるというのが27年度計画として挙がっているということなんですね。そういう開発計画は一方で、産業創造とか、育成とかそういう商業、詳しくは市のほうですが、そういう計画がある。スタートしてる、そこに直接ではなくて、Cとかいうところが前回出たので、民有地があるのでどれくらいかかるとかいう試算が出た。Aはもう計画があるので、並列して進んでいますので、そこではなくて、いくつか候補があがってきたと。基本的には、小郡地区はそういうふうに合併して、商業とか、県のいろんな支所、企業の支所の機能、そういうのを集合したゾーンをそこに集積しようという計画があるということですね。具体的にどう決まっているか、まだ決まってないところもあるようですが、そういう計画があるということが1つ。そういうことも皆さん知ってもらいながら、庁舎の位置も考えないと、例えば庁舎を全部移すと、むこうはどうなるのという話もあるよね、というふうに私も思いましたので、じゃあそういう計画があれば、ある程度説明してくださいということで、今回資料で見ていただいたら、具体的に多目的ホールとかいう計画がありました。あれがAゾーンにくるという計画がすすめられているということで、皆さんにも知っておいてほしいと思います。

【事務局】

内容については、会長さんがおっしゃられたとおりでございます。この度、候補地エリアとしてCの部分4番をお出ししていると思いますが、ここについて一方では、ターミナルパーク整備に関する市の計画があつて、事業がすすんでいます。先ほど会長さんがおっしゃったAゾーンには10ページに書いてあるようなコンセプトの中で市が公共的なものを整備していくと。9ページを見ていただきますと、その影響といいますかしみ出しでC1、C2ゾーンについては、民間の力で商業、業務機能の集積、あるいは街中居住の推進を図るというエリアだと設定がしてあるということでございます。ですから、Cをお示ししましたが、片方では現地の計画が進んでいます。Cそのものではないのですが、Aにそういう公共の事業が進んでおりますので、そういったことを知っていただきたいということで、資料をお付けしているという状況でございます。

それと、5番6番については、ターミナルパークとは直に関係はないんですが、

それにつきましては11ページに山口・小郡都市核マスタープランというのを作った中で、いま駅南のピンクの部分の部分が埋まっておりますので、次にこの街の広がりを作るというところは、5番あるいは6番のところ、そこに街が広がっていく可能性があるということで、マスタープランができていくという流れでございます。

【会長】

新山口駅周辺の再開発というのは、そういう形で別の形で進んでいくということは、是非ご承知いただいて、検討していただければと。

【I委員】

私、個人的には、阿知須に本庁を持ってきて欲しいのですが、そういう訳にはまいりませんので、私の意見を述べさせていただきたいと思います。

私は先ほど意見を述べられました河村委員と10年前にこうして協議会のほうで委員として議論させてもらった一人でございます。その中で、この1市4町合併協定書における新市の事務所に關する項目、附帯決議、これを私は絶対ないがしろにしてはいけないと思います。それは、この言葉があったからこそ、1市4町の合併がスムーズに進んでお互い納得しあって現在ここに山口市という大きなものがあると私は思っています。この言葉をまず前提に置いて議論をされるべきだと思っています。そして、亀山公園周辺エリアですが、以前景観を壊すという意見がありました。いま計画を見ますと、6階建てという案も出ています。そうしたことから、低層の建物なら良いと思うのですが、高層になってくると亀山公園全体の景観を壊す恐れがあります。従いまして、私は附帯決議どおり、小郡駅周辺の案を集約されたほうが良いと思います。それとこれは私の一つの案でございますが、いま皆さん本庁方式で議論されていますが、私は分庁方式もあっていいんじゃないかと思っています。議会等を今の亀山公園周辺に持って行って、本庁機能を新山口駅周辺に持っていくとか、そういった色々な意見を集約するための設置案といえますか、そういった案も一つの案ではなかろうかと私は思っています。

先ほどから、人口がどっちが多いからこの辺りとかという話もでしたが、やはり青年会議所の方が言われたように、将来的を見据えて、今の自分の立場で考えるのではなくて、20年、30年先を考えて、考えるべきだと私は思います。これから山口市がどこまでやっていけるか分かりません。将来的には防府とひつつくかもしれん、宇部とひつつくかもしれん、そういった中でもう少し大きく考えて、せっかくいま連携中枢都市という構想もあがってきておりますので、そういった人口の話をする、やはり軸足が上とか下とか私は決められないと思います。従いまして本庁は、分庁方式にしてもいいですから、新山口駅周辺が妥当ではないかと思っています。

【J委員】

先ほどから良い意見を聞かせていただきありがとうございます。私個人的には、山口市の心意気、今から30年を見据えた気持ちを具体化するのが山口市役所、そういう意味では今から市と連携、色んな国の施策に従った中で、ぜひ山口市の南部にお考えいただくのが一番いいのかなと思います。

山口県、内海に下関から岩国までだいたい9市あります。その中で一番海岸沿いに人口が多いのは山口市です。個人的には、山口市の施策、皆さんも色んなところで考えをいただいておりますが、外に向かってはアピールするものがひとつあれば素晴らしいものになると思っています。そういう意味では、再度申し上げますが、山口市の30年後の心意気として、外に向かったシンボルとして市役所を南部のほうにぜひお考えいただきたい。

それともう1点、次の総合計画があります。市の機能の話も出ております。これだけ総合支所、地域づくり協働のまちづくりと言われております。ぜひその辺の総合支所の機能、権限の強化、あるいは、それに伴う交流センターの機能強化、権限の強化が具体的になって、新庁舎の機能とかを考えないと、ちょっとイメージとして出てこないかと思っています。

【A委員】

今の委員さんの関連でございます。本庁舎の機能と、総合支所、あるいは交流センターの機能、この辺の住み分けをどう考えているのか。いま色々意見が出ましたが、人口の移り変わり、阿東町が合併したから遠くなるとか、そういう問題がございますが、特に住民サービスに関しては、この総合支所というところを強化をしていただいて、財源も機能も権限も全て本庁舎に問い合わせるまでもなく、機能ができる体制をまず先に作っていくということが重要だと思います。本庁舎の機能については、もっとコンパクトで重要な関連だけを取り扱うような本庁舎機能にしていいただいたら、前回も申し上げましたように、それほど大きな施設は要らないのかなと思います。昨日の新聞にも、市役所の窓口業務を民間の企業に委託をして、6割の政令市が実施ということがあります。総合支所の機能を強化しますと、財政的にも非常に軽いあれになってまいりますので、ぜひこういうふうな方向も含めてやっていっていかれたらどうかと思います。そういった意味でぜひ、本庁舎はコンパクトな本庁舎にするためには、新山口駅周辺に新設をされて、残された総合支所の強化、これをするによって、また特に山口市の総合支所についてはもっと強力で推し進めていく体制を作ればいいんじゃないかなと。先ほど色々なご意見が出ておまして、宇部市との連携中枢都市構想というのが決定していると思いますので、何年先になるのか分かりませんが、山口市、防府市の都市連携をすすめていくと、じゃあどこが中心になるのかということを考えれば、おのずと結論が出ると思います。

【会長】

議論が、機能と位置と3つをいま一緒に議論、まあ、最初はどれぐらいの規模とかを最初にやって、あと一応、という方向でとなり、いや一緒にないと難しいとなって、いま前回と今回、全部一緒にやりましょうという議論をしているんですが、なかなか難しいなど。いまの話で言うと、個別に大まかな考え方は山口市のどこに建てるかに対して、議論にはなっていない。小郡も、小郡に移すのだったらどこのポジションにするかっていうのも議論になってないなど。だいたい小郡にするか、山口にするか、その時に附帯決議どう考えるか、そういう感じだと。色んなメリット、デメリットを色々主張されましたので、そこを事務局のほうでも出した意見を整理していただきたいなと思います。

一つ、ちょっと、最低でもいま分庁の話がありました。要するに、1番最初、庁舎を建てかえる、古いから使えないよと、これ以上は耐震補強をやって残しても意味ないんで、じゃあ建てかえましょうと、そこは皆さん意見は一致したということですね。そうすると、じゃあ今ある機能をそのまま残せば、その規模の、まあ予算規模は150億までは行かない規模のやつで建てられる。そうすると、教育委員会とかはどうするの？話があって、その時に、スケールメリットといただきますか、集約すると少し節約できてっていう話が本来ならなければならない。ただ、教育委員会が抜けたあとどうするの、とかそこらへんの議論も私は要ると思うのですが、なかなか難しいのでそこは取っ払ってどうこうするかという考え方をするしかない訳です。そうするとやはり建てかえとなると、分散している教育委員会とか色んな機能を一緒に建てることにするのかどうかということも、皆さんひょっとしたら意見が違うのかな。そういうのを分散しておけばいいんじゃない、という話なんで、その辺の考え方を少しまとめないといけないので、ちょっと集約したほうがいいのか、それとも今までどおり機能を集約しないのか。しかも住民サービスは支所のほうでやられてる範囲があるので、それは当然崩さない、崩さない前提で議論をしていかないといけない。ただ、本庁舎にあったほうがいい教育委員会、そういうのは一緒にしたほうがいいのかどうかということで支所機能は当然どこかに建てれば、同じ機能は要るよねという話で、建てかえれば、建てかえたところの支所機能はその本庁のほうに当然含まれ、いま山口がそうなるから、そうなるんだよねという理解をしておいてもらったほうがいいんじゃないかと思います。その辺で集約したほうがいいのか、悪いのかで、恐らく集約したほうが、全体ではコストが安くなる気がするんですが、はっきり分かりません。ただ集約すると、負担金額は増える。ただしその集約された場所を変えてくるかもしれません。そこまでは検討してない。今の予算規模です。その辺りまで考えないといけないので、その辺をどう検討していけばいいのかなと思います。一応建てかえるということは皆さん、お決めいただいたので、それをどこに建てるかというのは、理由付けというのは、特に小郡に移すときにはかなり、例えば将来計画はどうなっているのか、そういうことも私自身は要るんじや

ないかなと漠然とは考えていました。今の位置にするのであれば、他の計画はそのまま進めていけばいいんですが、小郡に移したときに、じゃあ今並列して走っている計画はどうなるのかなというのは変わってくるのかなという気もしているので、そこも含めてもう少し議論をしないといけないのかなと。

【E委員】

すみません、今の集約の件に関してなんですが、今の議論の中だけで言うと、建物の規模によって一緒にすると値段が上がります、本庁舎を分庁舎化すると若干下がります、しかないんですが、前回の第3回のときに、消防本部や教育委員会、水産港湾課とかを入れるという話があったと思いますが、逆に集約したときのランニングコストはどれくらい下がるのかとかいうコストバランスが分かれば集約するのがいいのかなとかいう話分かるのですが、今のところただ単に、入れたいだけの話で、建物が大きくなるか小さくなるかということしか分かりづらいので、もし仮に可能であるなら、機能を集約した場合に年間の予算とかランニングコストがどれくらい費用対効果がでるのか出ないのかというのが、こことここを足したらこれくらい今かかっている費用が減りますよ、何%でも何割でも減りますよっていうのが分かればその分庁化するのか、一緒にするのかっていうのが分かりやすい気がするんですが。今、課だけで言うと何の課がどのくらい年間お金がかかっている、一緒にすると幾ら減ります、が見えないところがあるから、もし出来れば、その辺の参考をいただければ、より多くの意見がでるのではないかなと思います。

【K委員】

今、話が出ている、集めるか、分散にするか、それについては私が最初に事務局のほうに、集めたときと分散したときのメリット、デメリットをお願いしますと言っていたんですが、まだ具体的な話が出ていないので、こういう話になっているのかと思っています。

計画が出されている用地が、広い所で2万平方メートルです。この2万平方メートルが本庁舎を建てて、駐車場をとって、あと残りの土地がどれくらい出てくるんだろうかということが少し心配なんです。私ごとですが、昨年6月に済生会病院に3週間かわりました。その時に、あの前の中央公園のグリーンを見たときに何となく気持ちが休まるといいますか、市役所は市の顔ですが、その市の顔とセットであんな公園までもできるような、そういう用地が2万平方メートルで確保できるんだろうかどうだろうかと。いま中央公園が何平方メートルあるか分かりません。かなり広いと思います。そういうふうな建物を作って、駐車場を設けて、それで市の顔の市庁舎というのは何となくもったいないような気がします。そういうことで、前回の資料等も見たときに、用地の中にも建物が入れてあって、駐車場までとったらどれくらい残るだろうかと、そんなことで私はしっかり公園

用地まで近くに確保できる場所が、どこならそれができるか、それを判断の基準にしたいと思います。

【会長】

2万平方メートルは多分、建物の床面積・・・

【K委員】

いえ、敷地面積も。

【会長】

敷地面積の余裕はどれくらいあるかということが1つ、それから合体したときと、別で、費用対効果がどうなるかということですね。これは今、出ますかね。

【L委員】

前回、3回目の会議のときに出た資料では、新しく建てられる本庁舎については、現在市庁舎の外に出ている本来なら本庁舎の中にあるべき部や課は、一応全部中に取り込むという前提で資料の中に記載されていると思います。ですから、その中で一部の方からご意見があったような議会棟だけ別のところに作るというような話ではなくて、全部この中にあるんですよという話で、ですから費用については今の本庁舎、総合支所、各交流センターという3階層の構造は基本的には変わらない。私は名田島という弱小自治会ですが、全て市に頼まないといけない立場です。そうすると、まず交流センターに行きます。はい小郡の総合支所に行ってください、小郡に行きますと、はい南部土木行ってください、南部土木に行きます、これはうちじゃ決められませんね。本庁に行ってください。で、本庁に行きます。それで、うちの課と、あそこと、あの課にも行ってください。だから農林にも行ってくださいという話になるわけです。そうすると、総合支所というのが、果たして名田島にとってどれだけの魅力があるかという話。それならいっそ、本庁に全て丸抱えして、本庁がワンストップしてくれたらいい。今、本庁にバスで行く、歩いて行くという人はそれなりに限られます。だから、今の議論はどこにするかという議論がすすんでいます、それはワンセット全ての機能を本庁舎に抱えこんだものを建てかえらしたらということまで話を進めていただいて、総合支所にどういう権限をどれだけ持たせるかっていうのは、本庁のワンストップ機能を弱くしそうなものだったら、私は極論すれば、なくてもいいと思う、ということをお申し上げます。

【会長】

何か市のほうで、今のことでお答えすることがあれば

【田中中核都市推進室長】

先ほどのランニングコストの件ですが、今の外に出ている機能を集めた場合のランニングコストと比較はできないかということでしたが、現在の古い庁舎で入りきらなくて外に出ているので、今の費用のシステムで比較するのは困難な訳です。新しく全部入った場合と、入ってない場合で比べるときに、そういった低コストでランニングコストが低くなるような設計とか、建物になると思うので、今のランニングコストと比べることも不可能なんですね。そういった中でいま言えることは、持ってこなかった場合の面積やったらどのくらいになるのかとか、そういった話なら比較は可能なんですけど、今の教育委員会をのけたときのランニングコストの比較というのは非常に難しいのかなという考えでございます。

【会長】

多分私も難しいのではないかと、一応質問はさせていただいたんですが、難しいだろうなと。今の分散しているもののロスがどれだけあるかというものも、今の現状でこんなロスがあるからやはり一緒に置いておいたほうがいいとか、そういうところでないと、新しく建てたところでそのままと、どうかというのはなかなか難しいので、例えば私は山口大学ですが、3キャンパスはやはりロスが大きいなど色々あるんです。そういうのが多分コストになっているんだろうなと。それが大学と市役所が一緒の議論ができるとは全然思ってませんが、例えば疑義でも相当ロスしますし、そういうことはありますので、その辺でこういうロスがあるので一緒にいいんだというのがあればいい。それから先ほど申されましたように、できたら分散しているのを一本化してそこに建てる。ただし、移ったら支所の機能は当然移った残りのところには残すんだよという議論でいっていただければなど。あとは行革の話で、一本化の話というのは当然一発どこかに電話すればそれでOKっていうのが一番いいので、大学のほうも相当、責められます。どこに電話したらいいのかということで一本化窓口をやっといま作って、機能させているんですが、なかなか難しい話で、その辺も含めてもう1回話が出来ればと思います。あと、時間がないので、色んなご意見が出ました。私自身は、これを受けたときにそう簡単に決められるか、附帯決議もあるし難しいな、だからこの中での結論にしましょうと。それで、その答申をどう市として、あるいは市長として、議会として、扱えば、またそこで議論をしていただければいい。その時に、いま現状は本庁舎が亀山町にあると。それからここに移すと相当人の流れも変わるし、将来のあれも変わるだろうなと。あそこに建てかえれば、他の色んなことと並列して走ってますが、それには影響なくできるだろうと。その影響を図りかねるわけです。そういう議論で、いまの現状地にするか、新山口駅周辺にするかっていうメリット、デメリット、移す場合は相当理由をしっかりとしないといけないと思っていますので、何でそこにするという意見をもう少し、皆さんと次回も意見を交わして、候補地をどうするかを決めていきたいと思っています。

	<p>ちょっと時間がなかったので、私のほうから提案させていただきましたが、委員の44名で結論を得ると、できれば、今回も言いましたが、多分色んな意見が出て難しいなと思いますので、次回もう少し、絞りながらやったほうがいいのかなと思いましたので、もう1回事務局と私で話し合いをさせていただいて、一応こういう進行ということで次回もう1回議論をさせていただきたいと思います。</p> <p>できれば次回にはまとめたいと思っていますが、無理して次回必ずということはやりたくないなと思っています。</p> <p>やはり、理由付けというのは大切だと思いますので、そこを是非検討されて、次回に臨んでいただければと思います。それから、前回トラブルがありましたので、今回資料の中に公開は今日ということにさせていただきましたが、次回もそういう形でさせていただきたいと思いますので、皆さんここで自由に討論していただきたいと思いますので宜しくお願いします。今日はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございます。</p> <p>【事務局】</p> <p>次回の日程につきまして、資料の16ページにございますが、第5回の検討委員会につきましては、10月12日の10時、場所は防長苑となります。資料につきましては、会長さんにご相談しながら、皆さんのほうに1週間前くらいにお届けできるようにしたいと思います。それに併せまして、今日意見書をお付けしておりますので、何かありましたら事務局のほうにFAXないし、メールでも構いませんのでお送りください。以上です。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 第4回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会 ・ 資料2 第4回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会候補地エリア資料 ・ 資料3 第4回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会候補地(案)・候補エリア比較資料 ・ 委員名簿・席次表 ・ 意見書様式
<p>問い合わせ先</p>	<p>総合政策部 中核都市推進室（企画経営課）</p> <p>TEL 083-934-2746</p>